

2023 年度 第 1 回放送番組審議会

開催日時:2023年12月11日(月) 13時30分~14時30分

開催場所:CCNCコミュニティホール

参加者(委員):榊原 進 会長、細川 敦子 副会長、石垣 由貴子 委員、榊原 寛二 委員、
日比 桂子 委員、山本 和久 委員

欠席者(委員):高倉 志織 委員、委員 二宮 達好 委員

(会長・副会長、五十音順)

参加者(CCNC):松永 光司 代表取締役社長、江口 正洋 取締役 地域情報課担当、
富田 好 地域情報課 課長、築山 一誠、藤本 江美

■ 審議番組「おまつりニッポン 大足区蛇車まつり」9/9(土)~22(金)放送

1. 番組概要

- ・日本ケーブルテレビ連盟が主催し、全国のCATVを対象に企画を募集。採用された企画のみ制作し、全国のCATVで放送
- ・今年度は「今こそ応援したい! ニッポンの祭り」がテーマ。高画質の4K映像で遺し、広く発信することで地域の活性化を促進

2. 企画のポイント

いわれや見どころが、珍しく興味をそそられるが、認知度は低い祭りを全国に紹介し、祭り及びその地域の認知度向上に繋げる

3. 審議のポイント

- ・全国を対象にした番組だが、地域の皆様にとっても興味深い内容になっているか。
- ・CCNCエリア内(知多半島)の祭りを深掘りする番組をシリーズとして観たいか。

4. ご質問・ご意見(会長・副会長、以下五十音順)

榊原 進 会長

裏方の人をもう少し取り上げてもよいのではないか。祭りは、人から人へ口伝えていくものだから、映像があるとすごくよい。コロナ禍で3年近く空いてしまったことも影響し、若手の山車の曳き手、お囃子の奏者が少なくなっている。苦労話があってもよいと思う。

個人的に、武豊町の町名や山車のいわれに親しみを感じた。全国に向けて武豊町の紹介があり、番組尺が限られている中、あれもこれもと盛り沢山で、まとめるのに苦労したことが感じられた。もう少し的を絞ってもよかったのではないか。俯瞰の視点と、局地的な視点、バランスが難しい。

細川 敦子 副会長

爆竹から始まる仕掛け花火は、見たくてもギャラリーが多くて見えないことがあるので、番組で紹介したのはすごくよかった。祭りを全国に紹介する上で、手筒花火をやるところがメインになっていたが、子ども達が山車を曳くところやお囃子を練習する様子も少しあるとよいと思う。

祭りのいわれはすごく良かった。地域に住んでいても知らない人がいたので、それを番組で紹介してもらえてよかった。

石垣 由貴子 委員

「地域に向けた番組」と思って見ると少し物足りない。全国の皆さんに概要を伝える上で、この形になったのは分かったが、武豊町を身近に感じている美浜町の間人からすると、もう少し掘り下げた内容でもよかったと思う。番組を通して、祭りのしきたりや地域に受け継がれていく様子は感じ取れた。

榊原 寛二 委員

この祭りに関わっている側として見ても、祭り全体をよくまとめられていたと思う。2週間前の準備風景(山車を組み立てる様子)を取材していたが、影で支えてくれている人達が多くいることを知ることができた。

バックヤードは他にもあると思うが、それらを入れると時間が延びてしまう。全国の皆さんに向けてという意味では、今回のようなまとめ方になるのではないかと思う。どちらが良いのかは分からない。

お祭りの特徴である山車の上からの手筒花火、仕掛け花火など、よく紹介してもらえたと思う。

日比 桂子 委員

山車が90度に曲がる場所は、今まで見たことが無く、すごい技術だと感じた。この地域ならではの祭りの特徴、そこももう少し膨らませてよかったのではないか。山車を曳くスピードも速かったので、ナレーターもそれを表現する原稿を読んでほしかった。

色んな人がそれぞれの役割をしっかりと担ってあの祭りが行われていると思うので、人にもっとクローズアップしてほしい。ただ、見に行く機会のない祭りだったので何度も番組を見た。それくらい面白かった。

山本 和久 委員

全国で放送するシリーズ内の1本ということで、完全に地域特化した番組ではなく、内容にあいまいさが出てしまったのではないか。

珍しさをアピールするあまり、ドキュメンタリーなのかエンターテインメントなのか分かりにくい。派手な花火はしっかり描かれていたが、手筒花火をやる副区長(神男)のいでたちにどういう意味があるのか、どうやって身にまとっているのか分からなかった。

今の流行りは見えないところ、バックヤードが見える事だと思うので、祭りのバックヤードがもっと掘り下げたとよかった。

■欠席委員 書面でのご質問・ご意見(五十音順)

高倉 志織 委員

武豊町を紹介する時に、地図表示があると、もっと知多半島をアピールできてよいのではないか。アニメーションがナビゲーションする形だと、若い世代にも興味を持ってもらいやすいと思う。伝説の話をアニメ化し、

他の地域の祭りの起源などもシリーズ化した「祭りシリーズ」を見たいと思う。手筒花火は圧巻だった。生の声がたくさんあり、好感が持てた。

二宮 達好 委員

「武豊」という地名の意味や産業も含めた地区の紹介に始まり、祭礼行事については内容や役割、昔話を使って由来を説明するなどとても分かりやすかった。子供から年配者まで幅広い年齢層が参加し、地域全体で守られている大切な祭りであることが分かる。

他地区の祭礼を観に行く機会は少ないが、このような放送を観ることによって他地区の祭礼に興味を持つきっかけになると思う。他の地域についても紹介してもらいたい。

5. 追加質問

現状のコミュニティチャンネルでは、祭り当日の様子を長尺で編集して番組を放送しているが、15分や30分程度にまとめた番組はあまり作っていない。今後、そうした番組があったら観てもらえるかどうか？

<委員からのご意見>

山本 和久委員

イベント会場などに、カメラを据え置きにして撮りっぱなしは、一般聴衆と同じ目線。「それなら知っている」と内容が薄く、あまり見ない。バックヤードとか見える方が再発見もあってよいと思う。

石垣 由貴子委員

保存会の人達に、祭りのどういうところが見所か聞き取り、彼らが発信したいことを番組で発信できると良いと思う。見所を紹介することで、他地域の人達も祭りを見に来てくれるし、祭り自体に色んな人が入り込むようになってよいのではないか。

日比 桂子委員

彫刻、幕、山車、からくりなど、それぞれ特徴がある。それぞれ自慢で大事にしている。そのポイントをしっかり発信できると良い。

細川 敦子委員

自分の地域の山車、関わっている人は思いが熱い。インタビューからも熱さが伝わる。知り合いが番組に映っていることや、裏方の人達の頑張る様子、地域の皆が祭りを盛り上げていることが映し出されるとよい。

榊原 寛二委員

地元だからこそ見ると思う。CCNCエリアの4市町はどれも祭りが盛ん。地元の宝であり、地域の自慢、それぞれが採り上げられるのは見たい。山車の保管の仕方等、話しでは聞いているが、その様子を見たことは無い。そういう裏側の部分を見せてもらえるとよい。祭りに対する愛着が増すと思う。